雫石 夢物語

脚本・原作　雨宮恵子　　脚色・演出　小原千里

第17回 雫石町民劇場

2020年 2月15日(土)・16日(日)

雫石町中央公民館　野菊ホール　14:00 開演（開場 13:30）

入場料：一般 1,000円（当日 1,200円）**高校生以下無料**（整理券が必要となります）

※未就学児の入場不可（無料託児所あり）

プレイガイド：中央公民館（TEL.**692-4181**）・御明神公民館（TEL.**692-3228**）・雫石公民館（TEL.**692-3458**）
西山公民館（TEL.**693-3321**）・御所公民館（TEL.**692-2214**）・村上写真館（TEL.**692-2277**）
雫石町まちおこしセンターしずく×CAN（TEL.**692-6282**）

お問い合わせ：雫石町中央公民館　〒022-0555 雫石町上曽根田114番地（TEL.**692-4181**）

主催｜雫石町民劇場実行委員会　共催｜雫石町教育委員会　後援｜雫石町・新岩手農業協同組合雫石支所・雫石町芸術文化協会・雫石町婦人会・雫石町商工会・雫石町老人クラブ連合会・一般社団法人しずくいし観光協会・鷺宿温泉観光協会

017497-01.indd 1　　2019/12/23 10:44

第17回雫石町民劇場

雫石 夢物語

登場人物のご紹介

高倉数基
外村春記

高倉　桜
（数基の妹）
土橋葉月

北上　航
（数基の友人・仙台在住）
髙橋大貴

川谷倭子
（東京在住の歴女）
藤澤里緒

本宮管理員
（廃業したホテルのボンプ室の管理人）
袰岩雅信

沢口
（不動産会社社員）
田中研一

川上社長
（廃業したホテルの社長）
山崎　忍

川上雄太
（廃業したホテルの社長の息子）
松原丞一郎

高倉梅子
（数基、桜の母）
谷藤ひとみ

高倉和夫
（数基、桜の父・トマト農家）
堂前義信

消防団員　米田
諏訪泰幸

消防団員　東田
ハクセル美穂子

町の人々　川村
内田拓子

町の人々　戸塚
大坪正人

中山局員
（盛岡テレビの局員）
松ノ木拓也

横山教授
（大学の鉱石研究所の所長）
西山甲士良

水木助手
（横山教授のベテラン助手）
中川真理子

鈴木専務
（何某温泉ホテル観光の社員）
上野三四二

順子
（子どもたち）
中野綾夏

みはる
（子どもたち）
増谷心奏

太一
（子どもたち）
松原良輔

あらすじ

岩手山麓の開拓記念公園で、守護戦士ゲームというスマホの位置情報ゲームに夢中の数基たち若者三人（数基、桜、航）が集まって、開拓碑などに悪さをするゴーストを追い払う遊びをしていた。

そこで、日本中の由緒ある石碑等の写真を蒐集するのが趣味の女性、倭子と三人は仲よくなり、数基、桜兄弟の家（高倉家）に一泊する事になる。倭子の生き方に共感する桜は、倭子を憧れのお姉さんとして仰ぐ。

その夜更け、雫石の山麓に異変が起った。真っ黒な夜空から流れ星が落ち、光と共に轟音が山麓の町に鳴り響いた。眠りそこねていた航は、その山の中に消える空からの光を窓越しに見ていた。深夜だったので光の目撃者は町でもわずかで、盛岡のテレビ局の設置カメラだけが雫石山中に消える光を小さく捕えていた。翌朝、報道局の局員と隕石研究者の教授と助手が雫石にやって来る。

町では、昨夜の話題で盛り上がっていたが、一方で岩手山麓の開拓公園では廃墟ホテルの管理人と、そこで石碑守護のゲームをする四人が仲良くなっていた。

倭子が、急に吹きつける風が暖かくなっている事に気付く。そして、かすかにイオウの臭いが…。管理人と若者達は、公園奥の林の奥に入って行くと、そこから、新たな温泉が吹き上がって流れ出ていた。

さあ、大変！　隕石にも温泉にも価値が有る。さまざまな人達の権利を巡る主張や夢語りが始まる等、町中てんやわんやの大騒になる。いったい、雫石の町はどうなることやら？

017497-01.indd 2　　2019/12/25 11:30